

# 鶴岡市総合計画審議会

## 第2回市民文教専門委員会

平成30年6月1日（金）午前9時30分～  
第三学区コミュニティセンター 大ホール

### 次 第

#### 1 開 会

#### 2 あいさつ

#### 3 説 明

(1) これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点について

#### 4 協 議

(1) 着眼点に対する施策の方向について

(2) その他

#### 5 閉 会

## 資 料 一 覧

1 鶴岡市総合計画審議会第2回市民文教専門委員会次第

2 鶴岡市総合計画審議会市民文教専門委員会名簿

3 資料（事前配布）

1) 鶴岡市総合計画審議会第1回市民文教専門委員会（会議概要）

2) これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に  
対する各専門委員会及び地域振興懇談会での協議について

資料1

3) これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点（例  
示あり）

資料2

4) これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に  
対する市民文教専門委員会での協議・意見

資料3

鶴岡市総合計画審議会 市民文教専門委員会

(敬称略、五十音順)

No.	氏 名	役 職 名 等	備 考
1	生 田 浩 樹	鶴岡市立朝陽第四小学校・校長	
2	伊 藤 恭 子	鶴岡市スポーツ少年団本部副本部長	
3	伊 藤 博	中央公民館サークル連絡会副会長、鶴岡市中央公民館運営審議会委員、鶴岡市立図書館協議会委員	
4	今 井 忠 次	羽黒地域自治振興会連絡協議会会長	
5	小 谷 卓	環境つるおか推進協議会会長	
6	斎 藤 啓 子	鶴岡市生涯学習推進員	
7	酒 井 英 一	鶴岡市文化財保護審議会副会長	
8	佐 藤 潤 子	鶴岡市社会教育委員	
9	鈴 木 淳 士	鶴岡市町内会連合会常務理事	
10	菅 原 弘 昭	鶴岡市立鶴岡第一中学校・校長	
11	武 田 真理子	東北公益文科大学教授	
12	難 波 金 一	朝日地域自治振興会連絡協議会会長	
13	畠 山 健	鶴岡市消防団団長	
14	本 間 仁 一	鶴岡市自主防災組織連絡協議会会長	
15	丸 山 春 男	鶴岡市スポーツ推進委員会会長	

# 鶴岡市総合計画審議会第2回市民文教専門委員会 座席表

## 委員長



丸山春男委員

本間仁一委員

難波金一委員

菅原弘昭委員

佐藤潤子委員

生田浩樹委員

伊藤恭子委員

伊藤 博委員

今井忠次委員

斎藤啓子委員

酒井英一委員



支所長  
温海庁舎  
支所長  
朝日庁舎



支所長  
櫛引庁舎  
支所長  
羽黒庁舎



支所長  
藤島庁舎  
市民部長



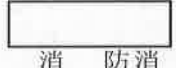
教育部長  
消防長



危機管理監  
市民部参事兼  
推進課長  
コミュニティ



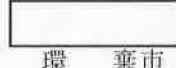
消防予防課長  
消防指令課長  
通信



消防次長兼消  
防署長  
消防総務課長



学校教育課長  
教育委員会事務  
局長参事兼管理課



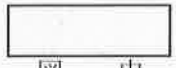
環境課長  
市民部参事兼  
棄物対策課長



市民部参事  
兼市民課長  
防災安全課長



藤島庁舎  
市民福祉課長  
藤島庁舎  
総務企画課長



中央公民館長  
図書館長



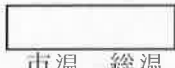
社会教育課長兼  
藤沢周平記念館  
長  
スポーツ課長



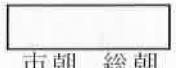
社会教育課主幹  
社会教育課文化  
主幹



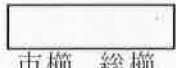
教育委員会事務  
局参事兼学校給  
食センター所長  
学校教育課指導  
主幹



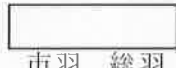
温海庁舎  
総務企画課長  
温海庁舎  
市民福祉課長



朝日庁舎  
総務企画課長  
朝日庁舎  
市民福祉課長



櫛引庁舎  
総務企画課長  
櫛引庁舎  
市民福祉課長



羽黒庁舎  
総務企画課長  
羽黒庁舎  
市民福祉課長



政策企画課主幹兼  
若者・子育て世  
代応援推進室長  
政策企画課  
政策企画課



コミュニティ  
推進課  
コミュニティ  
推進課



コミュニティ  
推進課  
コミュニティ  
推進課



コミュニティ  
推進課  
コミュニティ  
推進課



政策企画課  
政策企画課

入口

記者席

傍聴席

## 鶴岡市総合計画審議会 第1回市民文教専門委員会（会議概要）

- 日 時 平成30年3月14日(水) 午前10時から
- 会 場 第三学区コミュニティセンター 大ホール
- 委員発言の概要

### 防災基盤の整備

・沿岸部に屋外設置されている防災行政無線の中には、設置場所の関係等から音が聞き取りにくいものがある。早急に調査を行い、改善してほしい。

### 学校教育の充実

・小中学校へのパソコン配置については、可能であれば一人に一台を配置し、パソコンのエラーへの対応能力なども伸ばしていけば、子供の将来のためにもなると思う。

### 閉校施設の利活用

・小中学校の閉校施設の利活用について、旧福栄小学校において先日開催されたこしゃってマルシェのような、大人も子供も楽しめるイベントを他の閉校施設でも開催できればよいのではないかと。

### 歴史・文化資源の保存継承と活用

・先の時代を見据えた視点が必要。社会教育の点でいえば、藤沢周平記念館が現在ある一方で、明治以降、高山樗牛や丸谷才一など多くの文学作家を輩出しているわけでもあり、そういった方々の顕彰をどのようにしていくのかも大きな問題になるのではないかと。

・郷土資料館は全国的にみても評価が高い施設であるが、収蔵容量が限界を迎えている。毎年増えていくわけであり、何とかする必要がある。

・芸術文化施設は、文化会館やアートフォーラムなどがあるわけであるが、「歴史文化施設」というものを新たに建設する必要があるのかということも、この委員会で検討すべきではないかと。

### 在留外国人への対応

・グローバル化、ボーダレス化が進展する中、市内に外国人がどれだけ住み、どのような仕事をしているのか。また町内会等の中でどのように活躍している実態があるのかということも、把握する必要がある。在留外国人が増加していくことは、これからあり得ることであり、人口減少対策にもつながることである。

### 計画の策定・推進

・各課題に対応するために、どのような施策をしようとしているのか。人口減少の中で、鶴岡に人が来るようにするために、どのようなことをしているのか。課題に対してどのような取組みをして

いるのかを整理する必要がある。

・なぜこのように人口減少していくのか、止めるためには何をしなければならないのか。この 10 年でどうするのか、未来性のある提言や施策を盛り込めるような形にしなければならない。

・基本計画が画に描いた餅に終わらないように、具体的にどのように施策に落としていくのか考えなければならない。また、施策の実現のために、予算といかに連動させていくのかというところまで描いた計画にできないものか。10 年間で何を優先させて、何に予算を充当していくのかというところまで見通した計画にできないものだろうか。

・各部局の連携は今後も深めていかなければならないが、施策展開にあたっては「連携」から「連動」へと一歩進んだ形にしていくべきである。

・課題整理や課題への対応も大切だが、将来に夢を描けるように、市の強みを洗い出し、その強みや特色を売りにしていくということもできないものか。

## これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に対する 各専門委員会及び地域振興懇談会での協議について

### 1. 第2回企画専門委員会（4月26日）の報告

#### （1）まちづくりの重視すべき着眼点

企画専門委員会では次期総合計画基本構想につながる「まちづくりの基本方針」・「基本政策」・「本市の主要な課題」の検討のほか、各専門委員会の「施策の方向」の取りまとめに生かすため、これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点（別紙）を各専門分野での議論の切り口としてまとめました。

この着眼点の作成にあたっては、①情勢の変化 ②市民ワークショップ参加者の意見 ③総合計画審議会・各専門委員会の意見等を踏まえて作成しています。

#### （2）目標の設定

また、企画専門委員会では前回計画が計画期間内での計画内容の達成状況が確認しづらいことから、具体的な目標を設定し、後年に達成の検証ができるようにするべきと考えます。

### 2. 各専門委員会及び地域振興懇談会での協議事項

#### （1）着眼点に対する各委員の意見集約

各専門委員会及び地域振興懇談会においては、担当の分野ごとに企画専門委員会がまとめた着眼点を踏まえ、着眼点ごとに現状・課題、施策の方向性について委員それぞれの識見からご意見を申し上げます。

なお、着眼点については、各専門委員会で絞って重点的に話をしても構いませんし、また、お示しした以外に新たな着眼点を加えてご議論いただいても構いません。

#### （2）分野別の施策への反映

頂戴したご意見については、事務局において整理をし、総合計画分野別の施策の骨子（施策の方向性〔節〕、主な施策〔細節〕）に反映をいたします。

# これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視 したい着眼点

## ○挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の 整備

[文化や伝統など確立されたものを大切にしつつ、新しいことに挑戦ができる環境、人を惹きつけ投資を呼び込める環境が発展につながる]

## ○人づくりによる人材の確保

[郷土愛を育てることで定着を図りながら、魅力ある教育の実践がより多くの人材の確保につながる]

## ○交流人口を増やす施策の実施

[様々な人の受入れを進めるとともに、あらゆる施策で市民の満足を高め、他所にいかなくてもすむ生活を実現すること、交流人口を増やすことが人口減少社会の対応につながる]

## ○若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが 活躍できる地域社会の構築

[若者、子育て世代に選ばれるまちを目指すとともに、高齢者、障害者に優しく、誰もが活躍できる社会の構築が地域の発展につながる]

## ○内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化を伝承

[精神的な豊かさの実現を見直し、特有の自然、文化、歴史を大切にすることが地域の価値を高め、発展につながる]

## ○「循環」をキーワードとして重視

[人やエネルギーなどの循環はもちろん、あらゆる施策で循環を意識することで円滑な社会の発展につながる]

## ○対応から本格的国際都市へのシフト

[地方都市においてはグローバル化、国際化への対応にとどまらず、より本格的な国際化に踏み込むことが創造的な社会づくりにつながる]

## ○コンパクト+ネットワークによる自立分散型社会 の実現

[コンパクトなまちづくりを進め中心市街地の空洞化の防止をはかるとともに地域の個性を活かすためネットワークの構築をはかることが自立分散型のまちづくりにつながる]

## ○オンリーワンを目指すプロジェクトの実施

[個性を重視し、質の高い未来志向のプロジェクトを実施することが具体的で市民にわかりやすい計画づくりにつながる]



これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に対する  
 ( ) 専門委員会 / ( ) 地域振興懇談会での協議・意見

項 目	○挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備
現状課題	
施策の方向	
項 目	○人づくりによる人材の確保
現状課題	
施策の方向	
項 目	○交流人口を増やす施策の実施
現状課題	
施策の方向	
項 目	○若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築
現状課題	
施策の方向	

項 目	○内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化の伝承
現状課題	
施策の方向	
項 目	○「循環」をキーワードとして重視
現状課題	
施策の方向	
項 目	○対応から本格的国際都市へのシフト
現状課題	
施策の方向	
項 目	○コンパクト+ネットワークによる自立分散型社会の実現
現状課題	
施策の方向	

項 目	○オンリーワンを目指すプロジェクトの実施
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	
項 目	○
現状課題	
施策の方向	

※現状課題はこれまでの調書及び委員会の議論から各事務局で整理して記載

# これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視 したい着眼点(現状課題の例示)

## ① 挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備

[文化や伝統など確立されたものを大切にしつつ、新しいことに挑戦ができる環境、人を惹きつけ投資を呼び込める環境が発展につながる]

例えば、

・地球温暖化を食い止めるための緩和策及び適応策への取組 ・藤沢周平記念館を核とした読者層、交流人口の拡大 ・少子化対策

## ② 人づくりによる人材の確保

[郷土愛を育てることで定着を図りながら、魅力ある教育の実践がより多くの人材の確保につながる]

例えば、

・住民自治組織の組織体制 ・地域社会における人材育成 ・環境問題に取り組む人材の育成 ・競技スポーツ選手の輩出

## ③ 交流人口を増やす施策の実施

[様々な人の受入れを進めるとともに、あらゆる施策で市民の満足度を高め、他所にいかなくてもすむ生活を実現すること、交流人口を増やすことが人口減少社会の対応につながる]

例えば、

・担い手不足と活動参加者の減少 ・近隣関係やコミュニティ意識の希薄化 ・防犯体制の強化と犯罪の抑止 ・窓口手続きの簡素化 ・スポーツ施設の整備 ・消防団員の確保

## ④ 若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築

[若者、子育て世代に選ばれるまちを目指すとともに、高齢者、障害者に優しく、誰もが活躍できる社会の構築が地域の発展につながる]

例えば、

・地域コミュニティの維持、活性化 ・防災資機材の整備 ・防災組織の弱体化 ・高齢者の交通事故防止対策 ・地域の防犯体制の強化 ・要援護者に対するごみ出し等の支援策の検討 ・閉校した学校施設の有効活用 ・スクールバス車両の安全な運行の確保 児童数減少に伴う学校の小規模化 ・心を育む活動の推進 ・児童生徒の安全確保 ・教育相談及び特別支援教育体制の強化 ・学校現場での ICT 支援員の配置 ・社会教育行政と住民自治組織連 ・子育てにおける地域と学校の連携 スポーツ少年団の活動支援 ・高齢者世帯の防火安全対策

## ⑤ 内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化を伝承

[精神的な豊かさの実現を見直し、特有の自然、文化、歴史を大切にすることが地域の価値を高め、発展につながる]

例えば、

- ・ 森林都市の実現
- ・ 都沢湿地や上池、下池の自然生態系の適切な保全
- ・ 公害の未然防止と生活環境の保全
- ・ 海岸環境の保全
- ・ 市民の芸術活動の環境づくり
- ・ 歴史的文化資源の保存活用
- ・ 学校給食における食文化の継承

## ⑥ 「循環」をキーワードとして重視

[人やエネルギーなどの循環はもちろん、あらゆる施策で循環を意識することで円滑な社会の発展につながる]

例えば、

- ・ 再生可能エネルギー供給施設の整備
- ・ 地域の生活環境や地球環境に配慮した新たなゴミ焼却施設の整備

## ⑦ 対応から本格的国際都市へのシフト

[地方都市においてはグローバル化、国際化への対応にとどまらず、より本格的な国際化に踏み込むことが創造的な社会づくりにつながる]

例えば、

- ・ 国際理解に役立つ英語学習
- ・ 外国人研究者の採用増加に伴う外国人子女の学びの場の確保

## ⑧ コンパクト＋ネットワークによる自立分散型社会の実現

[コンパクトなまちづくりを進め中心市街地の空洞化の防止をはかるとともに地域の個性を活かすためネットワークの構築をはかることが自立分散型のまちづくりにつながる]

例えば、

- ・ 消防通信設備の整備
- ・ ICT 機器を活用した授業づくり

## ⑨オンリーワンを目指すプロジェクトの実施

[個性を重視し、質の高い未来志向のプロジェクトを実施することが具体的で市民にわかりやすい計画づくりにつながる]



※第2回専門委員会（6月1日）当日ご持参ください

皆様が考えていることを自由にご記入ください。（これは、専門委員会の参考資料とさせていただきますので、何かに掲載とか公表ということはありませんので、日ごろ感じておられることなど、箇条書きでも、なんでも結構です）

資料 3

これからの10年で鶴岡市のまちづくりに重視したい着眼点に対する  
市民文教専門委員会での協議・意見

<p>項 目</p>	<p>○挑戦でき、人をひきつけ投資を呼び込める環境の整備</p>
<p>「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。</p>	
<p>項 目</p>	<p>○人づくりによる人材の確保</p>
<p>「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。</p>	
<p>項 目</p>	<p>○交流人口を増やす施策の実施</p>
<p>「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。</p>	

※第2回専門委員会（6月1日）当日ご持参ください

皆様が考えていることを自由にご記入ください。（これは、専門委員会の参考資料とさせていただきますので、何かに掲載とか公表ということはありませんので、日ごろ感じておられることなど、箇条書きでも、なんでも結構です）

項目	○若者・子育て世代、高齢者、障害者に配慮し、誰もが活躍できる地域社会の構築
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	
項目	○内的豊かさを重視し豊かな自然と歴史、文化の伝承
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	
項目	○「循環」をキーワードとして重視
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	



※第2回専門委員会（6月1日）当日ご持参ください

皆様が考えていることを自由にご記入ください。（これは、専門委員会の参考資料とさせていただきますので、何かに掲載とか公表ということはありませんので、日ごろ感じておられることなど、箇条書きでも、なんでも結構です）

項 目	○対応から本格的国際都市へのシフト
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	
項 目	○コンパクト+ネットワークによる自立分散型社会の実現
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	
項 目	○オンリーワンを目指すプロジェクトの実施
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	

※第2回専門委員会（6月1日）当日ご持参ください

皆様が考えていることを自由にご記入ください。（これは、専門委員会の参考資料とさせていただきますので、何かに掲載とか公表ということはありませんので、日ごろ感じておられることなど、箇条書きでも、なんでも結構です）

項目	○
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	
項目	○
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	
項目	○
「・現在の課題について。 ・今後鶴岡市として力を入れていくべき施策や、具体的にどのような取組みを進めていくべきか。」 等をご自由に記入してください。	

※現状課題はこれまでの調書及び委員会の議論から事務局で整理して記載